

公表

児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和 7 年 4 月 25 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	・発達支援室の広さは法的基準を大きく上回っており、定員数に対して十分なスペースが確保されています。個別支援室なども備えており、児童の活動内容や特性に応じて柔軟に活用できる環境となっています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	・人員の配置数は適切に設定されている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	・視覚支援として、掲示物を用いて児童が動きやすくしている。	・基本的には特性に応じた設備になっているものの、環境への配慮等は利用児童に合わせ、日々考えていく必要がある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	2	・業務開始前や終了後に清掃を行い、常に清潔な環境が保てるよう職員間で協力して取り組んでいます。	・紫外線除菌機の導入など衛生面には配慮している一方で、エアコン使用時の乾燥が気になる場面もあり、空気環境の快適性という点では課題が残ります。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	・2つの仕切られた空間を常設している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0	・ミーティング等で振り返りや情報共有を行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・配付と事業所内掲示を行っている。 ・今回からHPで公表している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・朝礼時やミーティングの時間をしっかり設け、意見を発信しやすい環境を整えている。 ・研修や勉強会の際に意見交換の機会が設けられている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	6	・現時点では行っていない。	・今後取り入れるかどうかを検討していく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	・毎月事業所内で勉強会を実施している。 ・定期的に研修を実施している。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	・HPにて公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0	・こどもと保護者様の意見を伺い、それを客観的に分析した上で計画の作成を行っている。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	・全職員で意見交換を行い、こどもに合った計画を作成している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	・支援計画更新時に情報共有を行い、児童の状態を考慮した上で、計画に沿った支援をしている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	・フォーマル、インフォーマルどちらのアセスメントも活用しながら、日々の支援を行っている。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	・個別支援計画・専門支援計画で適切に項目に準じて支援内容を設定し、支援している。 本人支援は5領域すべてに対応した支援内容を設定し、支援に取り組んでいる。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	・都度話し合いの場を設け、その時の利用児童に合わせた活動プログラムを立案している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	・様々な活動プログラムを取り入れ、偏らないよう組んだり、新しい内容を随時取り入れている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	・個別学習と集団活動に関しての項目を支援計画にも組み込み、支援を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	・事前に役割分担をして、連携しやすいようにしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	2	・その日の出来事を共有し、ノートで申し送りも行っている。	・当日の支援終了後には行えないことがある。その場合は、次の日の朝礼時に振り返りを行うようにしている。

関係機関や保護者との連携	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	・個別ノートに日々の支援内容や児童の様子を記録し活用している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	・最低6カ月に1回の頻度でモニタリングを実施している。必要に応じて見直しも行っている。	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	・児発管が必ず参加するようにしている。	・児発管のみの参加が多いため、その他職員の参加も検討していく。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	2	・保育所や学校などの教育・保育機関とは月1回以上の頻度で連絡を取り合い、児童の様子や支援の方向性について情報共有を行っています。関係性を継続的に築きながら、支援の質の向上を図っています。	・医療機関や障害福祉サービス事業所等との連携については、現時点ではあまり機会が持てていない状況です。今後は、児童のより多面的な支援に向けて、医療・福祉分野との情報連携や協働体制の強化を検討していく必要があります。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	・各関係機関と月1回以上の情報共有を行っている。また、送迎時など都度最近の様子などを共有している。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	・就学時は就学後の学校と支援内容等の情報共有を行っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
保護者への説明等	31	(31は、事業所のみ回答)	3	3	・児童発達支援センターを利用している児童がいる場合には、必要に応じて個別に連携を取り、助言を受けるなどの対応は行ってきました。	・全体的には児童発達支援センターとの連携機会は少なく、継続的な関係構築までは至っていないのが現状です。今後は、他の児童支援事業所などとの連携も視野に入れながら、より広い視点での情報交換や助言を受ける機会を検討していく必要があります。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	3	・地域活動や外出支援の中で、地域住民との交流や他の児童との関わりが生まれるよう取り組んでいます。公園での遊びなどを通じて、地域の中で自然なかたちでの交流の機会を確保しています。	・保育所や認定こども園、幼稚園等との直接的な交流については、現在のところあまり機会が持てていないのが現状です。今後は、交流の場や方法について検討していく必要があると考えています。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	・連絡帳、送迎時の申し送りやお電話等を活用しながら、日々の状況について共有している。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2	・家族支援に関する研修の実施には至っていませんが、日々のやりとりやモニタリング時を通じて、ご家庭への情報提供や支援方針の共有を行うよう努めています。	・家庭支援の質を高める観点から、家族が参加できる研修の機会やプログラムのあり方についても検討していく必要があります。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	・契約の際、説明を行っている。疑問点や不明点があった際は、分かりやすい説明に努めている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	・モニタリング時や普段のお話などで、こどもやご家族の意志を確認の上、意思を尊重して作成している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0	・計画書を示しながら説明を行い、ご理解と同意を得た上で支援を実施している。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	・気軽にご相談いただけるよう、話しやすい雰囲気づくりから行っている。保護者様の希望の形（電話や面談等）相談を受ける体制を整備している。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	6		・プライバシーの問題から実施が難しい部分もある。 ・保護者様からの要望などあれば、機会を設けていくか検討していく。
保護者への説明等	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	・相談や申し入れがあった場合は、面談や電話等でお話を伺い、対応について職員間で話し合いを行い対応につなげている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	・SNSを通じて、学習の様子やイベントの様子を外に向けて発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	・個人情報書類は鍵付きロッカーで保管を行っている。 ・個人情報の取扱いについても、事業所内で定期的に認識の統一を図っている。	

	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	・ふりがなや読み上げ、視覚支援を使用し配慮を行っている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	4	・地域との関わりとして、公園などでの清掃活動や買い物支援などの外出時に、地域住民と自然に交流できる機会を設けています。日常の活動を通じた地域とのつながりを大切にしています。	・行事に地域住民を招待するなど、事業所として積極的に関わりを持つ機会は現在のところ設けていません。今後は、個人情報保護の観点にも十分配慮しながら、地域との連携を深められる取り組みについて検討していく必要があります。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	・年間研修計画に基づいて研修や訓練を行っている。年2回避難訓練を実施し、様子について保護者へ共有している。	・訓練が土祝に偏っている。平日の訓練や送迎中の訓練も検討していく必要がある。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	・BCPを策定し、それに基づいて研修や訓練を実施している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	・子どもの発作等、ミーティングで情報共有を行っている。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	・医師の指示書による対応が必要な児童は現状利用していない。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	・安全計画を作成している。また年度末に振り返りを行い、反省点などを次年度の計画に活用している。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	・安全計画の内容について保護者にお知らせしている。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	・ヒヤリハット事案が起きた際は、朝礼時なげ起きたかの検証と対策について話し合い、記録として残している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	・定期的に研修機会を設け、意識改善と確認を行っている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0	・身体拘束の適正化について研修を行い、認識を合わせている。基本的には行わない支援を徹底し、必要な際は保護者様と同意書を交わした上でやっている。	